

2022年度 地域密着型金融の取組み

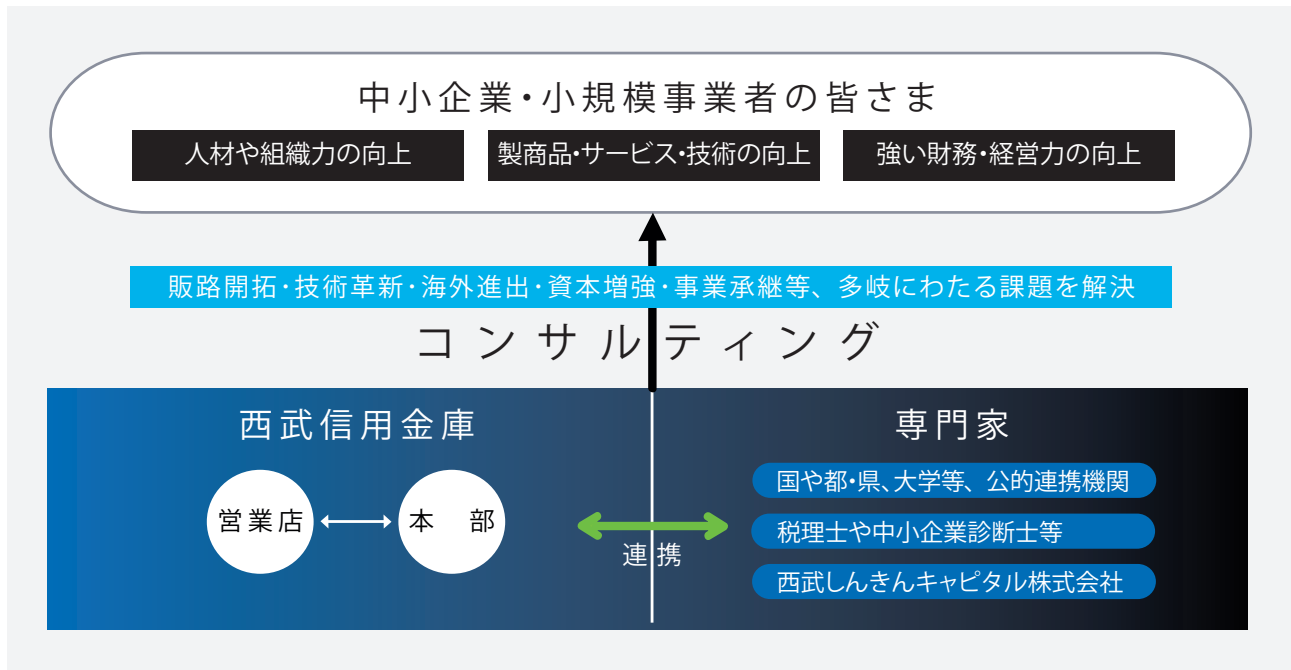
事業支援	1
起業ステージ	2
成長・円熟ステージ	3～5
資産形成・管理支援	6～8
街づくり支援	9～11
2022年度の実績	12

中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組み状況

事業支援

“ 当金庫は、中小企業等経営強化法の認定経営革新等支援機関として、下記のコンサルティング体制のもと地域発展の担い手である中小企業・小規模事業者の皆さまの新しい環境の変化に合わせた持続可能な成長をサポートしています。 ”

●中小企業コンサルティング体制



●主な事業支援実績(2022年度)

1. 専門家派遣による支援	685先 1,195回
うちコロナ対応	199回
2. 公的支援策活用支援	1,199件
うちコロナ対応	661件
3. ビジスマッチング支援	5,652件
うち受発注成約支援	1,246件
4. 産学連携支援	101件

●経営課題に応じた事業支援のための各種資格取得状況(2023年3月31日現在)

	2022年度
中小企業診断士資格保有者数	28名
宅地建物取引士資格保有者数	115名

● 経営支援に関する取組み状況

起業
ステージ

創業・新規事業開拓期は、ビジネスとして成功するために必要な経営資源(人・物・金・情報)が乏しいことから、起業への第一歩を踏み出せない方も多くいらっしゃいます。当金庫は、こうした課題を解決するため、ニーズに応じた支援メニューを取り揃え、皆さまの起業をご支援しています。

1. 創業期の資金需要をバックアップ！



創業専用融資

2022年度は、269件の創業融資を実行し、創業期の多様な資金需要にお応えしました。



ベンチャー・ビジネス(VB)投資

新規事業に挑戦しているお客さまに対し、西武しんきんキャピタル株式会社(当金庫子会社/2003年設立)を通じてエクイティ資金の供給を行っております。子会社設立以降のべ135社のVB投資を実行し、うち14社が上場を果たしています。



事例

地域の福祉サービスを担う「在宅介護事業」の創業を応援したケース

Aさんは、介護福祉士実務研修の講師や介護ロボットメーカーのアドバイザーを担うなど、介護事業に13年携わり、経験と実績を積み重ねてきました。超高齢化社会でますます高まるニーズに応えるべく、難しいといわれる在宅介護の事業化を決意。当金庫はAさんの想いを受け、創業をお手伝いしました。2022年12月に会社を登記され、翌年4月に介護事業の許認可を取得。利用者の在宅生活を24時間365日支える拠点として事業展開され、地域に欠かせない持続可能な社会創出の担い手として活躍されています。



2. 創業期のノウハウをセミナーや相談会でバックアップ！



創業セミナー・創業塾の開催

地域の自治体や団体の協力のもと、新たなビジネスを成功させるためのマーケティングや組織管理、財務などの経営面のノウハウをわかりやすくお伝えする「創業セミナー」や「創業塾」を開催し、創業の知識やノウハウ習得にお役立ていただいています。



「杉並区・中野区の共催による創業セミナー」



「武蔵野市の共催による創業塾」

3. 地域の創業事業をバックアップ！



ビジコンなかの2022

2020年より中野区の協力のもと開催している、中野区創業応援プロジェクト「中野区ビジネスプランコンテスト」。2022年度は当金庫主催・中野区共催・三井住友海上火災保険株式会社協賛で『ビジコンなかの2022』として実施しました。当金庫は、応募団体の皆さまのビジネスプランのブラッシュアップをお手伝いをしていただき、多数の応募のなかから7名のファイナリストが選出。2023年3月20日に当金庫本部にて最終選考会および表彰式を開催し、地域の創業をバックアップしました。





成長・安定期、円熟期における各社の経営課題は、業種や市場等で異なり、その解決手段も多岐にわたります。当金庫は、それら多種多様な経営課題に対し、専門家派遣や事業診断、資本強化策等、適切な支援メニューを適宜ご提案することで、中小企業のライフステージに合わせた支援を行っています。

1. ビジネスイベントを通じて、事業をバックアップ！



2022年のビジネスイベントは3年ぶりのリアル開催とオンラインによるサポートを展開

2022年度は、当金庫の2大ビジネスイベントが3年ぶりのリアル開催で復活。各イベント会場には、こだわりの食材で美味しいを追求する飲食・食品製造業等や、日本の中小企業の技術力が詰まった製品で勝負するものづくり企業が出展し、サステナブルな取組みの紹介やDX、GX促進に向けたサービスの紹介等を通じて、多種多様な事業者のステップアップを後押ししました。

第16回東京発！ 物産・逸品見本市

出展団体数:69
来場者数:37,132
バイヤー商談件数:20



第22回ビジネスフェア

出展団体数:165
来場者数:4,462
商談件数:2,646
スマートパンフレットダウンロード件数:667
イベントコーナー参加者数:1,086

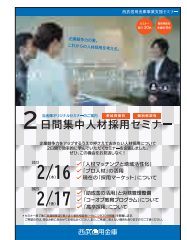


2. リアル×オンラインのセミナー開催で事業をバックアップ！



各種セミナー・相談会の開催

当金庫では、時流に合わせた事業者向けのセミナーや相談会を定期的で開催し、お客さまの事業に役立つ情報をタイムリーにお届けできるよう努めています。



3. 新融資商品や私募債の活用で事業をバックアップ！



当金庫は、2022年に2つの融資商品とSDGs私募債を新たに取扱い開始し、お客さまの様々なニーズに合わせた資金需要にお応えできるよう尽力しています。

東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資

東京都が取り扱う中小企業制度融資の融資メニューのひとつである、東京都中小企業制度融資「金融機関提案」融資に当金庫2融資商品が2022年10月に初採択され、地域事業の資金調達にお役立ていただいています。

1.西武脱炭素支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のCO₂排出量の算定(可視化)を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

2.西武BCP支援

西武信用金庫連携先のご支援により、自社のBCP等を行っている都内中小企業者または組合のお客さまを対象としています。

西武SDGs私募債

当金庫は2022年10月より、SDGs推進に取り組む企業のご支援およびSDGsの普及拡大と寄附を通じた地域貢献の一環として、「西武SDGs私募債」の取扱いを開始。2023年3月27日に地域でSDGsに取り組む5社のお客さまから当金庫初の「西武SDGs私募債」を引受けし、お客さまへ記念楯の贈呈式を開催しました。



記念楯の贈呈式の様子



4. トップラインサポートオフィスで事業をバックアップ



当金庫は、2021年1月より、「トップラインサポートオフィス」を開設しました。ビジネスを取り巻く環境の変化をとらえ、お客様の売上高や販路開拓等のトップライン引き上げのサポートに努めています。2022年度は、DX・GXの促進支援、事業承継支援等、お客様の様々な事業課題の解決に提携先と連携を図りながら取り組みました。

専門家派遣事業

お客様の多岐にわたる課題を専門家のノウハウで迅速に解決する「専門家派遣」態勢を構築し、課題解決に努めています。

■ 専門家派遣 フロー図

1 相談受付

問診申込み

2 現状把握

専門家・金庫職員が
相談内容をヒアリング

3 解決策の提案

専門家・金庫職員が
解決策を提案

4 解決策の実行

- ・支援メニューの活用
- ・連携機関のご紹介
- ・資金支援等具体的な解決策を実行

販路拡大支援～クラウドファンディングの活用～

事例

大手コンビニのバイヤーを紹介し販路拡大に成功したケース

A社はクラフトコーラの製造・販売を行っており、販路拡大を希望されていたことから、当金庫が大手コンビニのバイヤーを紹介し、店頭で販売されることとなりました。また、本マッチングを契機に、A社初の量産用「飲料缶」の開発・製造に着手。当金庫クラウドファンディング活用プロジェクト「せいら」を活用して資金を集め、2023年3月よりコンビニや全国のスーパー等で「缶入り飲料」の販売が開始されました。



ビジネスマッチング～クラウドサービス「Tokyo Big Advance」の活用～

当金庫は、2019年8月より、株式会社ココペリが提供する中小企業の経営課題をトータルサポートするプラットフォームサービス「Big Advance」の取扱いをしています。各種サービスのなかでも、販路拡大・人材確保・業務効率化・事業承継等、地域企業が抱える様々な経営課題にワンストップでお応えするマッチング機能は、多くのお客様の持続可能な事業の実現にお役立ていただいています。



2023.3.31

登録企業数 1,110 先

事業承継支援

事例

伝統工芸の老舗がM&Aで技術の伝承と海外販路の開拓に成功したケース

B支店取引先の伝統工芸の老舗事業者は、経営者が高齢かつ後継者がいないことから、廃業を検討していました。B支店は廃業ではなくM&Aによる存続を提案、適切なM&Aの専門会社を紹介しアドバイスを受けながら事業承継先を探したところ、エンタメ事業者によるM&Aが実現しました。このM&Aにより社長も含めた従業員全員の雇用が守られ、老舗店の存続が実現し、さらに、伝統工芸の枠を超えた新しいタイプの海外販路が開かれました。



環境経営支援

事例

LED照明入れ替えによる電気代削減とCO₂削減につながったケース

食品製造業を営んでいるD社は、電気代の高騰により工場設備内の照明の一部間引きや不要な照明の消灯などの節電対策を行っていました。そのような状況を知った営業店担当者より、設備導入支援を行っている当金庫提携先を紹介し、リースを利用したLED照明の入れ替えを提案しました。その結果、リースを利用することで初期投資をおさえることができ、照明を全てLEDに入れ替え、電気代削減とCO₂削減効果が得られました。また、空調設備も入れ替えし、さらなる電気代の削減につながりました。

海外展開支援

海外に活路を求める企業ニーズの高まりから、当金庫は海外進出に特化した相談窓口「海外展開サポートデスク」を2011年に設置。いつでもご相談いただける態勢を整えています。また、海外での資金調達や販路開拓等、海外展開に必要なノウハウやネットワークを持つ専門機関と連携を図り、海外進出を身近なものとして取り組んでいただけるよう努めています。

■ 「海外展開 サポートデスク」 支援フロー図

1 相談受付

2 情報提供

- ・セミナー
- ・専門家アドバイス
- ・海外支援機関の紹介等

3 進出計画 策定

- ・進出時期
- ・進出先の選定等

4 フィーズビリティ スタディ(F/S)

- ・現地調査
- ・マーケティング
- ・人材等

5 現地事業 開始

- ・現地労務対策
- ・税関物流対策
- ・貿易実務等

事例

輸入時の物流費削減と輸送時の商品破損問題を解決したケース

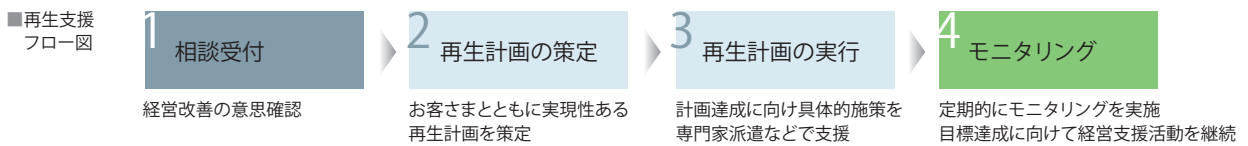
米国から商品（液体）を空輸しているC社は、航空運送費削減と、輸送時に商品輸送用タンクが破損し液体漏れが発生するという課題がありました。当金庫が連携する国際物流コーディネイト会社を紹介・相談したところ、運送費削減が可能であることが判明しました。以後、継続的に輸入手配を依頼することでコストダウンが図れているほか、輸入事務負担の軽減やタンク破損問題も解決し、お客さまのスムーズな事業運営にお役に立てることができました。

5. 再生支援でバックアップ！



当金庫は再生支援の担当部署を設け、きめ細かなご支援を行い、お客さまとともに事業再生に取り組んでいます。2022年度は102件の事業再生計画を策定しました。

2022
102件



また、2022年10月より、リレーションシップバンキングセンターを設置し、当金庫メイン先・非メイン先を問わず、信用金庫として地域経済に影響がある先等に深く関わり、金融支援だけに留まらず、ヒト・情報・ネットワークを駆使し、事業そのものを支援することで、お客さまの価値向上を目指しています。

事例

リレーションシップバンキングセンターによる事業支援活動の強化

E社は創業60年以上で、創業者が独自製品を開発・製造・販売し、ロングセラー商品となっていました。しかしその商品も販売から30年以上経過し、競合商品も増え、売上は減少傾向となっていました。そこでリレーションシップバンキングセンター長が、経営者と協議のうえ「経営連絡会議」を創設・実施することで役員間のコミュニケーション向上を図ることや、「従業員の皆さまへのアンケート調査」およびヒアリングを実施し、E社の現状を把握することで、強み・弱みを再確認するサポートをさせていただきました。このような取組みから出てきた課題を一つひとつ解決するとともに、今後の取組みとして、①商品リニューアル（パッケージデザイン含む）、②事業再構築補助金を利用した生産設備の更新、③販路拡大策（専門家派遣やネット販売強化）、④社内ローテーションの実施や全体ミーティングの定期的な開催等の必要性を共有し、各項目に取り組む事業計画の策定を提案し、E社の業績向上のための様々な支援活動に取り組んでまいります。

● 経営改善支援の取組み実績（2022年度）

	期初債務者数	うち経営改善支援取組先数	Bのうち期末に債務者区分がランクアップした先数	Bのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数	Bのうち事業再生計画を策定した先数	経営改善支援取組率	ランクアップ率	事業再生計画策定率
	A	B	C	D	E	B/A	C/B	E/B
正常先	15,873	73	60	60	73	0.46%	100.00%	100.00%
要留意先	うちその他要留意先	6,180	274	6	252	4.43%	2.19%	100.00%
	うち要管理先	11	2	0	2	18.18%	—	100.00%
破綻懸念先	606	77	4	69	77	12.71%	5.19%	100.00%
実質破綻先	127	1	—	1	1	0.79%	—	100.00%
破綻先	32	—	—	—	—	—	—	—
合計	22,829	427	10	384	427	1.87%	2.34%	100.00%

*「経営改善支援取組率」および「ランクアップ率」は小数点第3位を四捨五入して表示しています。

● 経営者保証に関するガイドラインへの取組み状況

当金庫では「経営者保証に関するガイドライン」および「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分にふまえ、お客さまからお借入や保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応をするため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、また、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等を把握し、同ガイドライン等の記載内容をふまえて十分に検討する等、適切な対応に努めています。

	2022年度
新規に無保証で融資した件数	2,689
新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合	41.30%
保証契約を解除した件数	76
経営者保証に関するガイドラインに基づく保証債務整理の成立件数	3

*「新規融資に占める経営者保証に依存しない融資の割合」は、小数点第3位を四捨五入して表示しています。

資産形成・管理支援

“ 当金庫は、お客さまのライフプランをはじめめる世代、そだてる世代、準備する世代、引き継ぐ世代と分類し、地域のお客さま一人ひとりに寄り添い、多様化するニーズに対応し、きめ細かなご提案をすることを目指し活動しています。 ”

1. 地域の相談拠点の強化で、お客さまの暮らしをバックアップ！

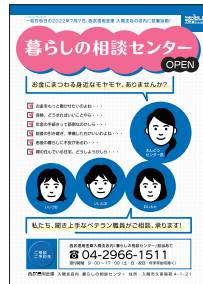


暮らしの相談センター新設

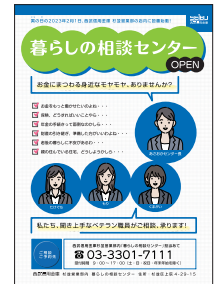
当金庫は、2022年7月に入間支店内、2023年2月に杉並営業部内に「暮らしの相談センター」を開設しました。「暮らしの相談センター」は、お客さまのお金に関するお悩みはもちろんのこと、暮らしにまつわる相談を専門的にお受けいたします。地域の皆さまとのつながりを広げ、深めていき、豊かで安心した暮らしの実現のためのお手伝いを積極的に展開しています。



名称
入間支店内「暮らしの相談センター」
所在地
入間市久保稲荷4-1-21
電話番号
04-2966-1511



名称
杉並営業部内「暮らしの相談センター」
所在地
杉並区上荻4-29-15
電話番号
03-3301-7111



2. 各種相談会で資産管理をバックアップ！



年金相談会

当金庫では、社会保険労務士による「年金相談会」を各営業店が定期的で開催しています。また、2022年2月より、Web面談による随時受付対応の年金相談サービス“オンライン「ちょこっと年金相談」”を実施しています。地域のお客さまの年金に関する疑問やお悩みをお気軽にご相談いただき、社会保険労務士のアドバイスを老後の資産計画の参考にさせていただいています。



資産承継相談会

地域のお客さまの老後や相続等に関するお悩みをもっとお気軽にご相談いただける環境づくりとして、資産承継相談会を定期的で開催しています。ご相談はお客さまのご要望に合わせ、対面またはオンラインの両方でお受けすることができ、2022年度は、251件のご相談をいただきました。

開催日 毎月 10:00-12:00
第1回 2022年 7月26日(水)
第2回 2022年 10月26日(水)
第3回 2023年 1月26日(水)

4会場で同時開催
AICの各営業店に同時開催いたします。
ご参加の場をご案内いたします。

こんな方におすすめです
・相続や老後の資金についてお悩みの方
・お金の将来についてお悩みの方
・お金の将来についてお悩みの方
・お金の将来についてお悩みの方
・お金の将来についてお悩みの方

申込み方法は?
・お申し込みは、お電話またはお申し込みフォームからご参加ください。
・お申し込みは、お電話またはお申し込みフォームからご参加ください。

お問い合わせ先
1 総合支店 03-6460-6688
2 入間支店 04-2966-1511
3 川口支店 04-2529-1311
4 入間支店 04-2966-1511



● 資産承継相談件数：251件(2022年度)

3. 投資信託手続きのDX化と積立投信キャンペーン実施で資産形成をバックアップ！



「投資信託専用タブレット」の導入

2023年1月、「しんきん預かり資産ナビ」(投資信託専用タブレット)を全店に導入しました。営業店窓口や営業担当者の訪問時にタブレットを用いて、投資信託の各種手続きが可能になりました。投資信託専用タブレットでは、お客さまによる必要書類への記入負担が大幅に軽減され、スムーズなお手続きの実現につながっています。



4. 従業員さま向けの各種勉強会・研修で、資産形成・管理をバックアップ！



資産運用・資産形成相談会の開催

当金庫では、事業を営むお客さまやその従業員さま向けに、専任の担当者による資産運用・資産形成等のセミナーまたは相談会を開催しています。経営者さまや従業員さま個人の生活の充実に、また事業所さまの福利厚生の一環としてもお役に立てています。

5. シニア向け預金商品で資産運用をバックアップ！



シニア世代へのおトクな預金商品

当金庫では、お客さまの貯蓄ニーズにお応えするため様々な預金商品を取り揃え、シニア世代の資産運用にご活用いただいています。

●各種預金商品契約実績(2022年度)

「よろこび」	8,172件	165億円
「ハッピー」	4,926件	151億円
「ほほえみ60」	2,131件	47億円
「制度普及促進定期預金」	1,001件	24億円



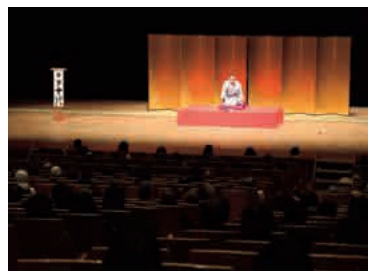
6. イベントの開催で、お客さまの暮らしをバックアップ！



5年ぶりのお笑い寄席開催

2022年度は、5年ぶりに一部の地域限定で、新たに年金を当金庫でお受取りいただけるお客さまを対象に、「お笑い寄席」を開催しました。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行を受け、全営業エリアの年金をお受取りいただいているお客さまに向け、「日帰り旅行」や「お笑い寄席」等のイベントを復活開催できるよう、努めてまいります。



7. 非対面セールスでバックアップ！



西武コンタクトセンター

2019年12月の開設以来、「西武コンタクトセンター」では営業店と連携し、お電話にて新商品やイベント等の有益な情報をご案内しています。平日では対応が難しいお客さまへは、休日にキャンペーン定期預金、各種ローン、保険の見直し等、継続的な情報発信をしています。今後も、環境の変化に合わせたご案内に努め、役立つ情報を発信してまいります。

●テレマーケティングの実績(2022年度)：架電ご案内件数 76,214件



8. 営業店と本部が一体となった営業体制でバックアップ！



各種相談・提案体制

お客さまのライフプランに寄り添い、個々のお客さまのニーズに合わせたご提案をするため、当金庫では、営業店担当者と専門性の高い本部職員である、「預かり資産アドバイザー」や「年金アドバイザー」、「金融資産アドバイザー」との同行訪問を行っています。営業店と本部が一体となり、より良いご提案ができる環境づくりに努めています。

事例

スピーディーな遺言書の作成でお客さまのニーズに沿った相続対策がなかったケース

お客さまAさまは相続発生の際に、代襲相続により手続きが難しくなることが見込まれていました。Aさまは、高齢で将来の健康状態にも不安をお持ちのことから、当金庫営業店担当者は、認知症発症リスクを踏まえると早い段階での遺言書の作成が必要であると判断し、本部専任担当者からのアドバイスをもとに、専門家をご紹介します。相談からスムーズに専門家へおつなぎしたことで、相談開始から概ね1ヵ月半で公正証書遺言書の作成に至り、Aさまのニーズに沿った相続対策および相続への不安解消のお手伝いをすることができました。

事例

営業店担当者と本部専任担当者のスムーズな連携で相続トラブル回避に成功したケース

お客さまBさまはご自宅のほかにも、現預金等の資産を所有。相続税の試算では、総額で基礎控除額を超えることがわかりました。また、当金庫営業店担当者との面談や相談会でのお話から、将来、ご自身がお亡くなりになった後の相続税支払いや相続手続きが、相続人間で円満かつ円滑に進むことを希望されていることを知り、生命保険の活用や遺言信託をご提案。さらに、本部専任担当者のアドバイスをもとに、Bさまの相続に対する想いの実現に適した専門家をご紹介します、ご希望に沿った相続準備、お客さまの将来の不安を解消するお手伝いことができました。

●ライフステージに応じたマネープラン提案向上のための各種資格取得状況(2023年3月31日現在)

ファイナンシャル・プランニング技能士1級 資格保有者数	21名
ファイナンシャル・プランニング技能士2級 資格保有者数	683名

●お客さまが安心してお取引いただける環境づくりのための各種資格取得状況(2023年3月31日現在)

認知症サポーター資格保有者数	389名
ユニバーサルマナー検定3級資格保有者数	96名

街づくり支援

“ 当金庫は、地域の課題をビジネスで解決するコミュニティビジネスのご支援や、地域活性化のための助成金等を通じて、地域の新たな創業や雇用の創出、働きがい・生きがいを生み出し、地域コミュニティの活性化に寄与したいと考え活動しています。 ”

1. 助成機能付き定期預金で街の活性化をバックアップ！



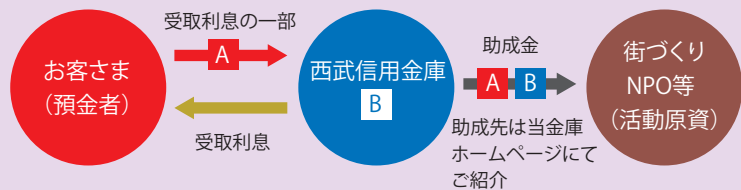
地域みらい定期預金

「地域みらい定期預金」は、お客さまのご預金が地域のみらいにつながる寄付型預金です。



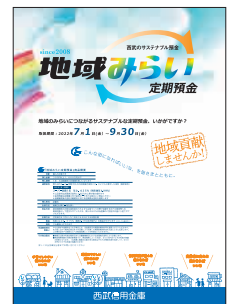
(例)
満期受取利息(税引後)が100円の場合、助成金として20円を寄付いただくスキームです。

お客さまからお預かりした助成金 **A** と当金庫からの拠出金(Aと同額相当) **B** を街づくりNPOに寄贈。お客さまのご預金が街づくりに生きる商品となっています。



当金庫は、2008年より街づくりを担う地域のNPO法人等への助成機能付き定期預金を販売しています。2022年度は、2022年7月1日～9月30日の3ヵ月間販売しました。

●地域みらい定期預金実績：1,517件 71億1,296万円(2022年度)



地域みらい助成金

「地域みらい助成金」は、2008年に取扱いを開始した当金庫の助成制度です。2022年度の助成原資は、昨年度販売した「地域みらい定期預金」の満期お利息の一部と、当金庫の拠出金からなります。2023年3月30日に助成金最終選考会および贈呈式を開催し、助成先6団体さまが決定しました。なお、交付した助成金は、助成団体の皆さまの地域貢献活動にご活用いただく予定です。



●地域みらい助成金助成実績：6団体 120万円(2022年度)

2. 融資商品&オフィスの提供でコミュニティビジネスをバックアップ！



西武コミュニティローン

子育て世代やご高齢者支援等、地域に資するコミュニティビジネスを営むお客さま専用ローン商品を通じて、その活動を応援しています。



コミュニティオフィスの提供

安価な家賃のオフィススペースを設け、地域でコミュニティビジネスを営むお客さまの活動拠点としてご利用いただいています。

・「西武コミュニティオフィス」
(2005年開設)
当金庫 荻窪支店併設

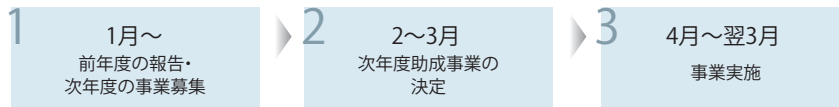


3. 助成金×若者のアイデアで地域の活性化をバックアップ！



地域みらいプロジェクト

2022年度に34年目を迎え、累計寄贈額は7億円超となる助成制度を活用した地域活性化事業は、2020年度より「地域みらいプロジェクト」として助成金の贈呈に加え、各事業への若手職員参画が盛んに行われています。2022年度は46団体2,855万円の活動助成金を贈呈し、地域活性化等のための事業にお役立ていただきました。



*本制度は1989年(平成元年)に「地域協力募金」を創設し、「中小企業振興資金」、「地域活性化資金」、「地域産業応援資金」、2020年4月から「地域みらいプロジェクト」として継続的に地域の活性化に資する活動をご支援する制度です。

事例

西東京商工会と連携して市内の創業を応援したケース

西東京商工会さま主催の「創業」をキーワードとする2事業(いずれも創業支援計画に基づく取組み)に励み、市内における創業をバックアップしました。

1. 「西東京市創業スクール」

実務に精通する講師陣から創業ノウハウのレクチャーを受け創業計画書の作成を目指す本講座には、当金庫から保谷支店および田無支店の若手職員が参加。創業の実務面をサポートしました。

2. 「創業基礎・経営セミナー」

持続可能な経営者育成のための本セミナーには、当金庫から保谷支店長がコメンテーターとして参加。創業を目指す皆さまへのアドバイスを通じて、各事業の磨き上げを応援しました。



事例

東京商工会議所杉並支部と連携して地域振興事業に取り組んだケース

東京商工会議所杉並支部さま主催の地域振興事業に取り組みました。なかでも杉並支部青年部が手掛ける『夢のカプロジェクト』では、JR中央線の4駅(西荻窪・荻窪・阿佐ヶ谷・高円寺)のキャラクターのデザインコンテストが行われ、当金庫からは阿佐ヶ谷南支店の若手職員が青年部の会員としてプロジェクトに参加。プロジェクトに運営面から携わり、地域振興事業に尽力しました。



〈その他各種事業への参画の様子〉



東京家政学院大学
「地域交流会2022」



神奈川経済専門学校
「就職マッチング会」



日の出町商工会「第80回 ひので朝市」&「ひのでカード会抽選会」



むさし府中商工会議所「商店会特別応援事業(お買物促進キャンペーン)」



東京富士大学
「新宿colors&patterns」



青梅商工会議所「シン・経営塾～コロナ禍転じて福となす～」

4. 各種地域のイベント参加で地域活性化を全力でバックアップ！



地域イベントへの参加

2022年度は感染防止策をとりながら、地域のお祭りやイベントが少しずつリアル開催で復活。久しぶりの地域の皆さまとのふれあいの場に、当金庫職員一同、心躍らせながら参画させていただきました。今後も、地域活性化の一助となるよう、積極的に各種イベントに参画させていただきます。



原宿地区「環境洗浄化防犯パトロール」



第15回村山デダラまつり



第55回記念青梅マラソン大会「給水サポート」



2022年「春の全国交通安全運動」



「第15回青梅三ッ原工業まつり」

5. サステナブルな社会の実現に寄与する地域事業をバックアップ！



当金庫は、SDGsに寄与する取組みを積極的に応援しています。

フードバンク

「NPO法人フードバンク八王子えがお」さまの活動に賛同し、2021年10月より八王子市内の店舗窓口に食品寄贈BOX『えがおボックス』を設置。食品を捨てずに寄付することで「食のロス」および支援を必要とする方に食料を届ける「食のセーフティネット」となる取組みを行っています。

*「えがおボックス」設置店：北野支店、榎原支店

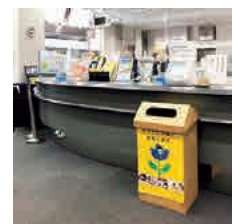
●寄贈実績：882食品(2022年度)



こどものみらい古本募金

内閣府「こどもの未来応援国民運動」に賛同し、2020年11月より店舗窓口(15支店)に「こどもみらい古本募金」の専用回収ボックスを設置しています。本取組みは、読み終わった本を活用した寄付プログラムで、資源の有効活用と貧困の状況にある子供たちへの支援を行うものです。本取組みにより、資源の循環と、すべての子供たちが夢や希望を持てる社会創出に寄与できればと考えています。

●寄贈実績：1,156冊(2022年度)



こどもの未来応援基金『クリック募金』

当金庫は、2022年6月より、金融機関として初めて“こどもの未来応援基金『クリック募金』”に参画。貧困にある家庭や子どもへ、必要な支援を届けるためのお手伝いをしています。本活動は、内閣府「こどもの未来応援国民運動」の取組みのひとつで、特設サイトのバナーをクリックしていただくと、クリックされた方に代わり当金庫が1クリックにつき2円(2023年4月現在)を「こどもの未来応援基金」に寄付する仕組みとなっています。

●クリック実績：2,909回(2022年度)



●SDGs思考の取組み活性化のための資格取得状況(2023年3月31日現在)

SDGs・ESGベーシック検定資格保有者数	124名
-----------------------	------

●高齢者等のお客さまが安心して生活できる街づくりのための協力状況(2023年3月31日現在)

高齢者等の見守りに関する協定締結自治体数	31市区町村
----------------------	--------

■2022年度の実績

事業支援活動

項目	実績
1. 専門家派遣	685先／1,195回
(うちコロナ対応)	(199回)
2. 公的支援施策取得活用支援	1,199件
(うちコロナ対応)	(661件)
3. 受発注相談による紹介、ビジネスマッチングの支援	5,652件
(うち受発注成約)	(1,246件)
4. 産学連携支援	101件
5. 西武事業承継支援センターの活用	307件
6. 海外展開支援	150社
7. M&A情報	93件
(うち成約)	(7件)
8. 創業融資による支援	269件

事業再生活動

項目	実績
1. 事業再生計画策定	102件
(事業再生計画策定先総数)	(476件)
2. 債務者区分ランクアップ	13件